



YMCA

月刊 The YMCA 付録

編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本塩町7番地
大阪青年 発行: 末岡祥弘 編集: 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297
URL: http://www.osakaymca.or.jp/
(年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

大阪青年

2009 Jan. 1
Feb. 2
No. 613

2008年度 年間聖句

「めいめい自分のことだけでなく、
他人のことにも注意を払いなさい。」
(フィリピの信徒への手紙 2章4節)

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組む、平和で公正な世界をめざします。

“孤立”が覆う社会を“つながり”へと変える働きを



六甲山から望む日の出

“わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながってあれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。”

ヨハネによる福音書 第15章5節

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、今年の皆様の歩みが平和で祝福に満ちたものであることをあらためて心よりお祈りするものです。しかし今、私たちの社会を振り返って見ますと、様々に表れている社会問題の背後に「本気で親密な関係を持つことを拒否する」「孤立」とも言うべき問題が横たわっています。

かつて、大阪YMCA創立120周年記念講演「福祉文化を築く」の中で阿部志郎さん(横須賀基督教会社会館会長)は現代社会の課題として、「目に見えない社会の精神的な中心点をどこに作り、どこに求めるのか」ということが問われているのです。「コミュニティ」というのは、極端にいえばどこにもないのです。つくらないかぎりないのです」と話されました。

この問いかけに対して大阪YMCAは人と人との繋がりを強め、一人ひとりが主体として生かされる、福祉の文化を社会的な中心点とする「ネットワーク型福祉社会」をつくらせていくことを掲げました。2009年の今こそ「孤立」が覆う社会を「つながり」の社会へと変える働きを、生涯学習、ヒューマンサービス、学校、国際、ボランティアの各分野の大阪YMCAの一つ一つの働きの中に具体的ににより強めていかねばなりません。

その歩みを強めようとする新年、「人がわたしにつながっており、わたしもその人につながってあれば、その人は豊かに実を結ぶ」と聖書は語りかけます。

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」

新しい年、いつも私たちに繋がってくださるぶどうの木からの、新しい恵み、新しい力、新しい導き、新しい助けを祈りつつ、「ネットワーク型福祉社会」としてのその枝を希望を持って広げる働きを、進めたいと思います。

大阪YMCA総主事 末岡 祥弘

地の塩

▼天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。」

(ルカによる福音書第1章30節〜31節)▼キリスト教で1月1日は「主イエス命名の日」という祝日です。昔、ユダヤの規則では子どもが産まれたら、その日から数えて8日目(クリスマス)の8日目、つまり元旦は聖母マリアが子どもに「イエス」と名付けた記念日で、教会では特別な礼拝を捧げ、各自が名前について思いを新たにするとして守ってきました▼名前には名付け親の期待と願いが込められています。このような人になってほしい、このように成長し、生涯をおくってほしい、名付け親は祈りと願いを込めて名前を付けたのです▼私は長女に信仰熱心な人であることを願う「信子」と命名しました。芦屋の教会のオルガニストとして礼拝や諸奉仕に励んでいます。次女には愛の深い人になるように願い「愛子」と名付けました。数多くの患者さんに愛され、愛する医師として医療に従事しています。長男には健康第一、元気に育ってほしいとの願いから「元」と命名しました。ボーイスカウトで最高の富士章を獲得し、会社員として元気に全国を飛び回っています▼名前は最も短い自己紹介文です。「名は体を現す」といわれます。名付け親の意図を思い、名前に相応しく生きているか、年頭に当たりそれぞれを生活で占めたいものですか▼新しい年を迎え、お一人、お一人の名前に相応しい年を歩まれるように祈っています。(虔)